

研修 No.
16-10

生産管理シリーズ 品質管理

▶ QCと改善の進め方

このような方におすすめ

- (1) 不良・クレームゼロ対策の効果的な進め方を身につけたい方
- (2) 品質管理・品質保証体制構築に向けた自社課題の解決策を模索している方

研修のねらい

品質課題の徹底解決を図り顧客満足を高めるためには、管理技術の知識やスキルを身に付け、「品質向上計画・改善」活動に積極的に取り組む必要があります。

本研修では、現場で展開する実務的なQC手法、改善活動の進め方について、事例・演習を中心に、自社課題解決に役立つ実務的、具体的な効果を得る方法を学んでいただきます。

【対象者】 経営幹部・管理者 等

■実施期間 全3日間(20時間)

2016/7/4(月)~6(水)■定員 **30名**■受講料 **28,000円**(税込)

※宿泊費は含まれません。

※お申し込みが多数の場合、定員を変更させていただく場合がございます。

受講者の声

- ◆過去の事例、動画を使いながら分かりやすい講義でした。
- ◆なるほどと関心をもつものが多く、とても新鮮に感じました。
- ◆とても解りやすい説明でした。クレームゼロを目指します。

研修カリキュラム

日程	研究テーマ	内容
7/4(月) 9:40~17:40	ISO9001の解釈と効果をあげる活用法	<ul style="list-style-type: none"> ●過去のISO活用の問題点 ●ISO9001の効果をあげる活用法 ●ISO14001、OHSASなどの産業界の取り組みや動向など ●様々な品質関連国際用語の正しい解釈ー活用法 ●簡単に出来て効果があがる内部監査とマネジメントレビュー ●2015年に改訂されたISO9001の内容も詳しく解説
7/5(火) 9:40~17:40	不良・クレームゼロ対策手法	<ul style="list-style-type: none"> ●QC7つ道具(新QCを含む)の活用法の評価 ●3現主義と事実分析の進め方 ●5W法による問題→原因→対策・再発ゼロ化法 ●NASA比較分析による不良ゼロ対策 ●品質保証実態図を用いた不良発生予防対策
7/6(水) 9:00~16:00	自社課題解決に向けた具体的取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●ヒューマンエラー対策の効果的な進め方 ●新製品開発段階からの不良・クレームゼロ対策の進め方 ●前2日間で学習した手法を活用し、持参した自社課題テーマの解析 ●グループによる検討 ●簡単な解析内容の発表討論会

※カリキュラムは変更となる場合がございます。

講師紹介

▶ 中村 茂弘 (なかむら しげひろ)

有限会社QCD革新研究所 代表取締役

早稲田大学大学院理工学研究科卒業。日立金属(株)勤務20年、一般社団法人日本能率協会(JMA)を経て現職。

ISO9001審査員補、ISO14001審査員補、JMA不良・クレームゼロ対策研究会委員主査、特許・リサイクル対策研究会主査、チームマネジメント研究会主査、技術・技能伝承対策研究会を歴任。JMA・専任講師